

JANOME



刺しゅう名人



Super Quilt

スーパーキルト



COSTURA

コスチューラ

767シリーズ



スーパーセシオ

SECIO PC

第79期

中間事業報告書

(平成16年4月1日 平成16年9月30日)

蛇の目ミシン工業株式会社

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。



さて、当社第79期上半期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の営業結果についてご報告申し上げます。

（1）経営成績

当中間期は、引き続きアメリカが世界経済を牽引するなか、好調な対米輸出等を背景とした中国の高成長が、アジアならびにその他地域における景気の回復に寄与いたしました。同時に銅材等の原材料アップを招きました。

国内におきましても、雇用情勢は厳しいものの、好調な輸出や積極的な設備投資を受けて、個人消費に緩やかな回復が見られました。

このような状況のもと、当グループでは、4月に策定した「新2ヵ年計画（STEP-2 PLAN）」の達成に向け、グループ一丸となってグローバルマーケットにおける販売力の強化、並びに競争力のある生産体制の構築を図ってまいりました。

その中で、製造コストにつきましては、仕入れメーカーの見直しや、VA（価値分析）によるコスト低減努力により、原価への影響を最小限に留めましたが、原油価格の高騰が原材料費の大幅アップを招いたため、全体的な原価上昇を強いられました。

また、財務面におきましては、計画に沿った順調な借入金の削減を行ない、財務体質の健全性を高めました。

これらの結果、当中間期の**連結売上高**は、為替は前年同期比円高に動いたものの、欧州、中近東、中南米向けミシン販売並びに産業機器が好調に推移したことから前年を若干上回る**229億9千万円**（前年同期比1.0%増）となりました。**営業利益**は、原材料アップに加え、新製品開発費や販売促進経費等積極的な先行投資を行なった結果、**15億7百万円**（前年同期比19.6%減）となり、また**経常利益**は、**12億7千1百万円**（前年同期比13.7%減）の計上となりました。**中間純利益**につきましては、**5億4百万円**（前年同期比32.5%減）の計上となりました。

単独決算につきましては、当中間期の**売上高**は、前年同期並みの**195億4千5百万円**（前年同期比0.3%減）となりました。**営業利益**は、販管費の増加に伴い**9億8千5百万円**（前年同期比16.3%減）となり、**経常利益**は、子会社からの受取配当金の増加により**19億9千9百万円**（前年同期比35.7%増）となりました。これにより**中間純利益**は**14億9百万円**（前年同期比44.3%増）の計上となりました。（当中間期平均為替レート@109円86銭、前中間期平均為替レート@118円05銭）

なお、株主のみなさまには誠に申し訳なく存じますが、中間配当金は無配とさせていただきます。

次に、連結決算につきまして、事業セグメント別の概況をご報告申し上げます。

<ミシン関連事業>

ミシン事業につきましては、新2ヵ年計画の目標である台数増を目指し、海外では中近東市場ならびに中南米市場拡販に努め、また国内では日本ホビーショーなどへの出展により営業活動をバックアップした結果、海外販売が約84万台（前年同期比8.8%増）、国内販売が約11万台（前年同期比7.7%増）となり、国内・海外を合わせたミシンの総販売台数は過去最高の約95万台（前年同期比8.7%増）を記録いたしました。

しかしながら、数量を重視したことと、積極的に市場投入した中・低価格機種が予想以上に伸びたことにより、これらの機種の比率が増加し、結果的には販売単価が低下いたしました。

更に、海外ミシン販売につきましては、為替（期中平均レート）が前年同期の118.05円/US\$に比べて109.86円/US\$と円高で推移したことにより、売上高が台数増に比べて伸び悩みました。

また、当中間期のミシン生産台数につきましては、東京工場、台湾・ジャノメミシン（株）、タイ・ジャノメ（株）の合計が、これまでの最高記録である前年同期を約7万台上回る98万台（前年同期比7.8%増）に達するなど生産は順調に推移いたしました。

これらの結果、当中間期の**ミシン関連事業の売上高は、171億6千8百万円**（前年同期比1億7百万円増）となりました。

<24時間風呂・整水器事業>

24時間風呂につきましては、業務用屋外設置型から家庭用屋外・屋内設置型まで多様なお客様のご要望にお応えできるラインアップを揃え、引き続き広告宣伝を行なうなど攻めの営業を展開し、販売台数・金額ともに前年同期に比べ10%以上の伸びとなりました。

一方、整水器の販売につきましては、販売台数・金額ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、当中間期の**24時間風呂・整水器の売上高は、13億8百万円**（前年同期比5千8百万円減）となりました。

<産業機器事業>

産業機器事業につきましては、新製品投入を通じて、卓上ロボット、エレクトロプレス等の主力商品並びに注型成型装置などの拡販を行ない、多様化する顧客ニーズに応えると共に新規取引先の開拓に努めました。

また、産業機器関連の各種展示会に積極的に出展し、当社製品の優れた品質、性能、さらにアフターサービス体制をアピールし、営業を強力に後押しいたしました。

これらの結果、当中間期の**産業機器事業の売上高は、前年同期に比べて21%アップの17億7千5百万円**（前年同期比3億6百万円増）の計上となりました。

＜その他サービス事業＞

連結子会社の事業である電算情報処理サービス、24時間風呂据付サービス等に、当社の不動産賃貸収入を加えた**その他サービス事業の売上高は、27億3千8百万円**（前年同期比1億2千5百万円減）となりました。

（2）財政状態

当中間期末の**総資産は、665億3千2百万円**（前期比11億4千6百万円減）となりました。これは例年のように上期の季節的要因であるクリスマス商戦に向け海外販売子会社が在庫を積み増したことにより棚卸資産が14億5千8百万円増加しましたが、有利子負債の返済により現金及び預金が11億6千2百万円減少、投資有価証券の時価評価などによる減少が12億5千5百万円あったことによります。

負債の部では、有利子負債について長短借入比率の見直し・私募債の発行など資金調達の多様化を図り、同時に借入金の圧縮を進めた結果、有利子負債が13億4千2百万円減少し、負債合計では**500億8千7百万円**（前期比10億3千1百万円減）となりました。

また、**資本の部**では、投資有価証券の時価評価減によりその他有価証券評価差額金が減少したことにより**159億3千8百万円**（前期比9千2百万円減）となりました。

また、当中間期のキャッシュ・フローの状況は、**営業活動によるキャッシュ・フローが6億8千3百万円のプラス**となり、**投資活動によるキャッシュ・フロー**は有形固定資産の取得による支出があったこと等から**4億5千3百万円のマイナス**、**財務活動によるキャッシュ・フロー**は借入金圧縮に伴い**16億5千7百万円のマイナス**となりました。

これらの結果、**現金及び現金同等物の当中間期末残高は29億4千2百万円**となりました。

（3）今後について

今後につきましては、原油価格高騰による原材料費等の上昇及び為替レートへの影響が懸念されるなど、予断を許さない面がございます。このような中で、当社グループは、新2ヵ年計画に沿ってそれぞれの得意分野に経営資源を集中し、経営の効率化とスリム化、さらに収益力の向上を図ることで、強靱な企業体質を確立してまいります。

当社は、より一層の営業努力と生産性向上を通じて、製造並びに販売における家庭用ミシンNo.1の地位をより強固なものとするため、国内外での販売力の強化と、効率的で機動性の高い国内・海外生産体制を追求してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **加藤 隆一**

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(平成16年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	22,250	流動負債	30,196
現金及び預金	3,203	支払手形及び買掛金	4,241
受取手形及び売掛金	7,830	短期借入金	22,074
有価証券	1,427	未払法人税等	519
たな卸資産	8,343	賞与引当金	754
その他	1,628	その他	2,605
貸倒引当金	△183		
固定資産	44,281	固定負債	19,891
有形固定資産	23,483	社債	1,000
建物及び構築物	4,709	長期借入金	10,021
土地	16,514	再評価に係る繰延税金負債	3,933
その他	2,258	退職給付引当金	4,133
		その他	803
無形固定資産	624	負債合計	50,087
投資その他の資産	20,174	(少数株主持分)	
投資有価証券	6,343	少数株主持分	506
和議債権等	30,000	(資本の部)	
繰延税金資産	5,622	資本金	7,623
その他	1,329	資本剰余金	0
貸倒引当金	△23,120	利益剰余金	4,422
資産合計	66,532	土地再評価差額金	5,733
		その他有価証券評価差額金	△466
		為替換算調整勘定	△1,371
		自己株式	△2
		資本合計	15,938
		負債、少数株主持分及び資本合計	66,532

中間連結財務諸表

中間連結損益計算書

(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)

		科 目				金 額	
						百万円	百万円
経常損益の部の	営業損益の部	営業収益	高				22,990
		営業費用	原価	一般管理		10,785 10,696	21,482
	営業利益					1,507	
	営業外損益の部の	営業外収益	受取配当	受取替	利息差	税金	15 12 124 68
営業外費用		支持分	法に	よる	投資損失	380 0 77	457
		経常利益					1,271
特別損益の部の	特別損失	特別利益	固定資産	売却益		102	102
		特別損失	たな卸資産	売却	の	36 24 1	62
		税金等調整前中間純利益					1,311
		法人税、住民税及び事業税				678	
		法人税等調整前				78	
		少数株主利益				49	
		中間純利益					504

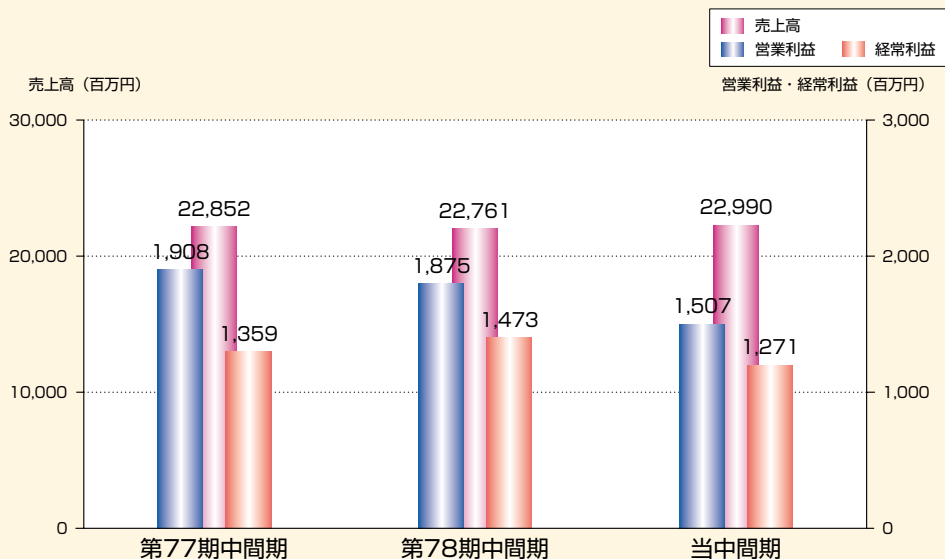
中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)

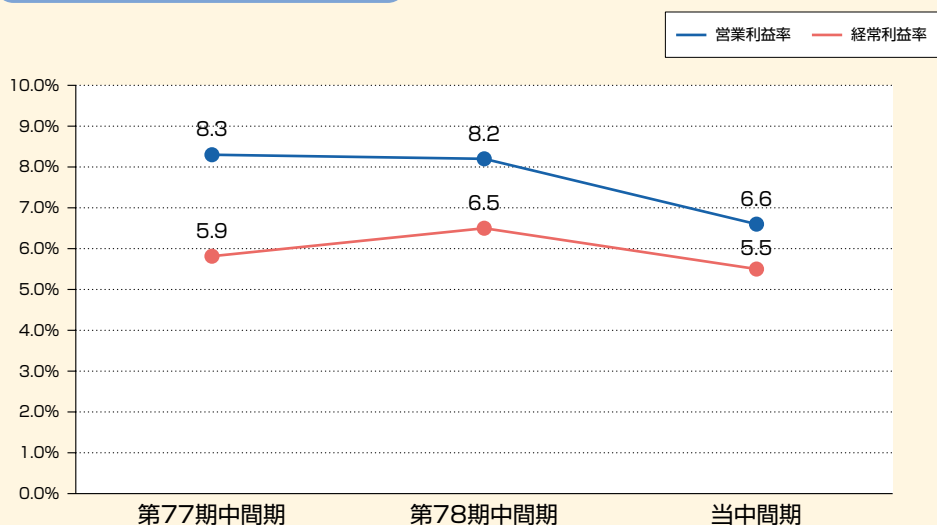
科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	683 百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,657
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6
現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	△1,434
現金及び現金同等物の期首残高	4,283
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	93
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,942

中間連結決算概要

●売上高・営業利益・経常利益



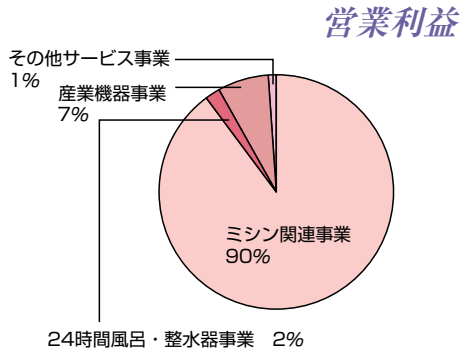
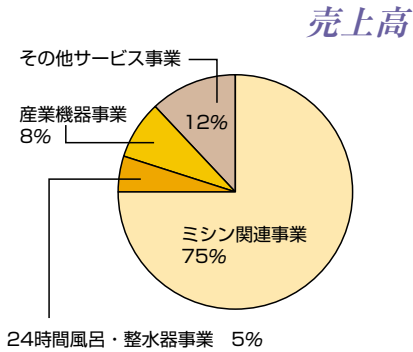
●売上高営業利益率・経常利益率



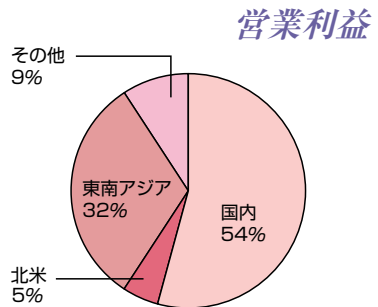
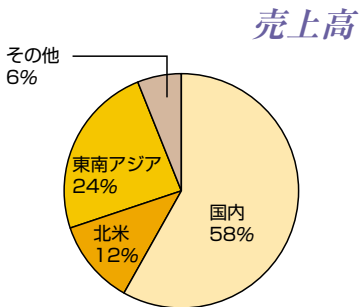
中間連結セグメント情報

(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)

事業の種類別セグメント



所在地別セグメント



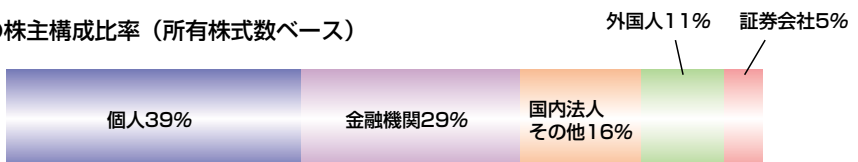
(注) 所在地別セグメントにおける売上高の比率は、セグメント間の内部売上高 (又は振替高) を含んだ割合を表示しております。

株式の状況

(平成16年9月30日現在)

発行する株式の総数	360,000,000株
発行済株式総数	152,460,000株
当中間期末株主数	12,254名

●株主構成比率 (所有株式数ベース)



中間個別財務諸表

中間貸借対照表

(平成16年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	百万円	(負 債 の 部)	百万円
流 動 資 産	15,845	流 動 負 債	27,945
現金及び預金	2,336	支 払 手 形	1,472
受 取 手 形	1,365	買 掛 金	5,982
売 掛 金	6,789	短 期 借 入 金	18,437
た な 卸 資 産	2,175	未 払 法 人 税 等	322
そ の 他	3,255	賞 与 引 当 金	429
貸 倒 引 当 金	△77	そ の 他	1,301
固 定 資 産	43,457	固 定 負 債	18,613
有 形 固 定 資 産	20,233	社 債	1,000
建 物	3,690	長 期 借 入 金	9,783
土 地	15,986	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	3,933
そ の 他	557	退 職 給 付 引 当 金	3,094
無 形 固 定 資 産	537	そ の 他	802
投 資 そ の 他 の 資 産	22,686	負 債 合 計	46,559
投 資 有 価 証 券	6,109	(資 本 の 部)	
子 会 社 株 式 ・ 出 資 金	3,206	資 本 金	7,623
和 議 債 権 等	30,000	資 本 剰 余 金	0
繰 延 税 金 資 産	5,214	利 益 剰 余 金	△182
そ の 他	1,277	土 地 再 評 価 差 額 金	5,733
貸 倒 引 当 金	△23,121	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△428
		自 己 株 式	△2
資 産 合 計	59,302	資 本 合 計	12,743
		負 債 及 び 資 本 合 計	59,302

(注) 1. 有形固定資産減価償却累計額 11,019百万円
2. 1株当たり中間純利益 9円25銭

中間個別財務諸表

中間損益計算書

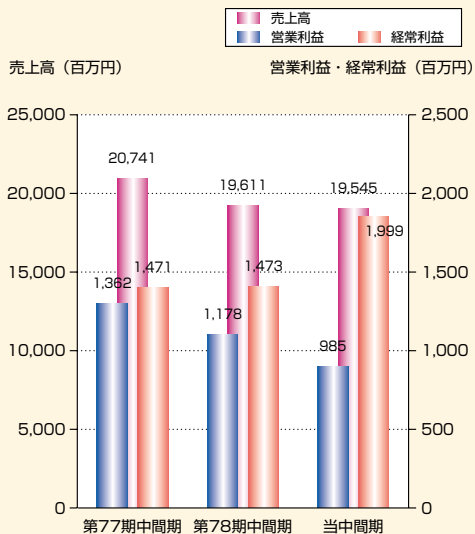
(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)

		科 目	金 額	
			百万円	百万円
経常損益の部	営業損益の部	営業収益		
		売上高		19,545
		営業費用		
	売上原価	12,477		
	販売費及び一般管理費	6,082	18,560	
	営業利益		985	
	営業外損益の部	営業外収益		
		受取利息	14	
		有価証券利息	6	
		受取配当金	1,329	
為替差益		45		
雑収入		27	1,423	
営業外費用	支払利息	340		
	雑損	69	410	
	経常利益		1,999	
特別損益の部	特別利益			
	固定資産売却益	82	82	
	特別損失			
	たな卸資産評価損	36		
	固定資産売却及び除却損	23	59	
税引前中間純利益			2,022	
法人税、住民税及び事業税			454	
法人税等調整額			158	
中間純利益			1,409	
前期繰越損失			1,592	
中間未処理損失			182	

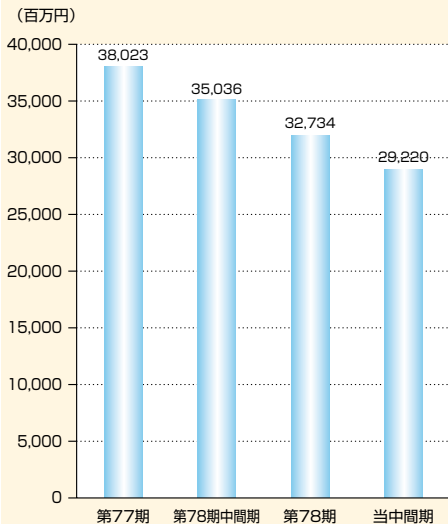
(注) 減価償却実施額 有形固定資産 158百万円
無形固定資産 9百万円

中間個別決算概要

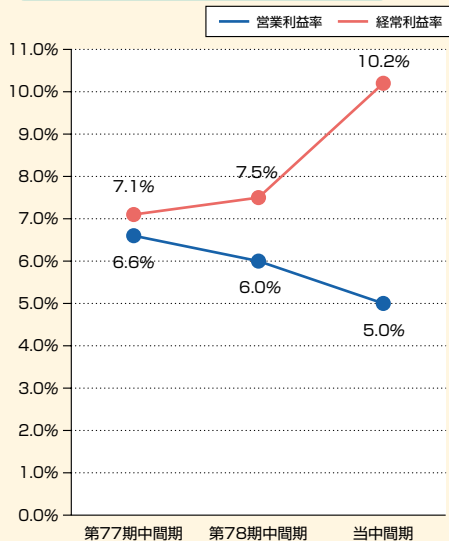
●売上高・営業利益・経常利益



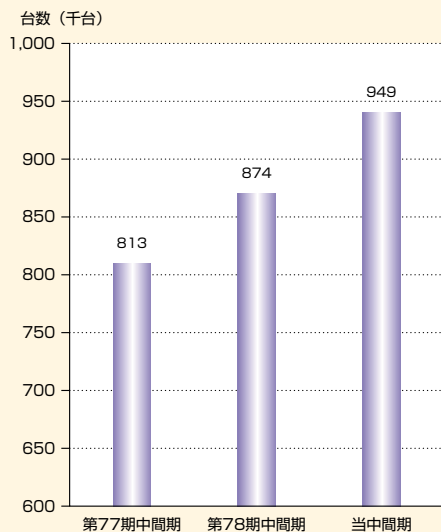
●有利子負債



●売上高営業利益率・経常利益率



●ミシン販売台数



新製品



Powerful & Beautiful Sewing

ジャノメ高速直線ミシン
COSTURA
コスチューラ
767シリーズ

美しい直線ぬい
安定したぬい調子
耐久性を誇る

全ミ連より高速直線ミシン「HS-70型」の共同販売に関する記者発表が行なわれる。

全ミ連（全国ミシン商工業共同組合連合会）が50周年事業の一環として、弊社とのタイアップによりオリジナル機種として高速直線ミシン「HS-70型」（弊社767型と同型）を新発売することになり、8月30日、共同販売に関する記者発表が行なわれました。

大きく、見やすく、わかりやすく。

Schone
シエーネ

ふれあうやさしさ、感じる楽しさ。



ジャンメ クリーンバスユニット

いつでもキレイなお湯には秘密がある。
ジャンメだけの、
超・強力クリーンバスシステム。
スーパートリプル処理でさらにパワーアップ。

業界初
のスーパー浄化！
レジオネラ属菌
不検出レベルを達成！



毎
日
な
リ
ン
ア
ッ
プ



浴室外設置型
BATHACE
600
業務用
クリーンバスシステム

卓上ロボットNシリーズ

JR2000N
Series
Desktop Robot

高性能化と使いやすさの追求

簡単な操作方法に加えて様々なお客様のニーズに対応することができるカスタマイズ機能を採用

ねじ締め
ロボット



ねじ締めユニットを取り付け、ドライバーのI/Oをセットするだけでねじ締めロボットとしてご利用頂けます。**ねじ浮きエラー・ねじ空転エラー・ねじ供給エラー検出**することができます。

はんだ
ロボット



はんだのユニットを取り付け、はんだ付けロボットとしてご利用頂けます。

ご協力：(株)ジャパンユニックス様

CCDカメラ
ロボット



X・Y方向はCCDカメラを使い、Z方向はハイトセンサーを使って**自動位置補正**を行います。

TOPICS

月間ミシン生産台数、過去最高を達成

7月、ジャノメグループの月間ミシン生産台数が193,633台に達し、これまでの記録である昨年8月の184,540台を約9,100台上回りました。

内訳は、台湾ジャノメが新記録の140,008台、タイジャノメが49,333台、東京工場が4,292台でした。

また、10月16日、タイジャノメにて、創業15周年記念式典が開催され、喜多村社長の挨拶に続いて永年勤続者の表彰やランチパーティーを行ない、全従業員で祝いました。



タイジャノメ創業15周年記念式典

第1回無担保社債（私募債）を発行

当社は9月30日に、資金調達の一環として、第1回無担保社債（私募債）を発行いたしました。

私募債とは、少数特定先に直接引付けてもらう社債であり、今回発行した無担保社債（10億円）は全額、中央三井信託銀行株式会社が9月30日付で引き受けしております。

当社としては、創業以来初めて発行する社債です。

決算説明会開催

5月14日（金）午前10時より本社地下一階レストランうすけぼーに於いて決算説明会を開催いたしました。

平成2年以來14年ぶりとなる今回は、27社から29名の証券アナリストやマスコミ関係者を招き加藤社長、中道副社長出席のもと、決算報告及び今期予想、新2ヵ年計画等の説明に続いて活発な質疑応答を行ないました。

コンプライアンス

様々な法令や規則を順守するのは無論のこと、利害関係者であるステークホルダーに目を向けた分かりやすく透明な企業経営を行なう一環として、以下のことを実施いたしました。

*7月30日、ジャノメダイカスト(株)の子会社であるジャノメダイカストタイ(株)(タイ国カピンブリ、大林政志社長)が品質管理の国際規格であるISO9001(2000年版)認証を取得しました。

*8月24日・25日の両日に行なわれた全国地区代表支店長会議において、社団法人日本訪問販売協会から消費生活アドバイザー米山真梨子氏を講師にお招きして、お客様の視点に立つ正しい営業活動を行なうことを目的とする消費者問題研修会を開催しました。

*東京工場、台湾・ジャノメマシン(株)及びタイ・ジャノメ(株)の三工場では、協力会社を対象とするRoHS説明会を9月に開催しました。RoHS指令とは、EU(欧州連合25カ国)での特定有害物質の使用制限のことであり、当社ではマシンと産業機器が対象となります。鉛、カドミウムなど特定6物質が使用禁止となり、2006年7月1日以降、未対策品の販売が禁止となるため、弊社では、2005年7月出荷品から実施することを目標に、協力会社と共に検討、諸準備を行なっています。

株主メモ

決 算 期	毎年 3 月 31 日
定 時 株 主 総 会	6 月下旬
基 準 日	3 月 31 日
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目 33 番 1 号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 (〒168-0063)
(電話照会先)	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	電話 03 (3323) 7111 (代表)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
株式取扱手数料	名義書換……………無料 新券交付……………1 枚につき 200 円 単元未満株式の買取りおよび買増し ……………株式の売買の委託に係る手数料 相当額として別途定める金額
公 告 掲 載 新 聞	東京都において発行する日本経済新聞 貸借対照表及び損益計算書に関する情報は、当社ホームページ http://www.janome.co.jp に掲載しております。

----- お知らせ -----

◎住所変更、単元未満株式買取請求および買増請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル 0120 (87) 2031 で 24 時間受付しております。

蛇の目ミシン工業株式会社

東京都中央区京橋三丁目 1 番 1 号 TEL 03 (3277) 2071
ホームページアドレス <http://www.janome.co.jp>